

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	ミュージカル
	応募区分	特別エリア区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	おーえすけにつぼんかげきだん		
	制作団体名	株式会社OSK日本歌劇団		
	代表者職・氏名	代表取締役社長 豊田 崇克		団体ウェブサイトURL
				https://www.osk-revue.com/
	制作団体所在地	〒 541-0057	最寄駅(バス停)	大阪メトロ 本町駅
		大阪市中央区北久宝寺町4-3-11		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	創業 1922年(大正11年) 設立 2009年(平成21年)1月7日		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		取締役 渡邊 博和 取締役 辻 信次 取締役 中嶋 健治 取締役 小口 日出彦 取締役 多田 理 取締役 川村 一博 監査役 細川 雄介	劇団員:翼和希・千咲えみ ほか48名 研修所(2年間)の卒業試験に合格した者のみ入団することができる	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	脇本 寿郎
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	渡邊 博和
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		wakimoto@osk-revue.com		09056521808

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	1922年 松竹楽学部生徒養成所を天下茶屋に創立。松竹座にて第一回公演を上演 1926年 松竹座開場3周年記念として「春のおどり」が誕生、令和の現在も続く伝統公演として上演 1930年 日本で初めて、男性風に短く髪の毛を刈り上げるスタイルの「男役」を確立させる 1945年 大阪大空襲後に奇跡的に焼け残った大阪松竹座にて公演を継続 1949年 日本ではじめての本物の水を使ったレビューを上演 1951年 松竹の歌劇団であることを活かした、歌舞伎をベースにしたレビューを上演 1963年 日本劇場にてOSK、宝塚歌劇団、日劇ダンシングチームなどの合同公演に参加 1971年 朝日放送の資本参加、近鉄グループ傘下に参入し、拠点を奈良県へ移行 1973年 創立50周年記念祭典実施。退団後も活躍したOGの「笠置シズ子」や「京マチ子」ら出演 2004年 66年ぶりに松竹座「春のおどり」公演の再開 2010年 大阪文化祭賞グランプリを受賞 2011年 第1回関西こころの特別賞受賞 2013年 高槻市教育委員会から篤行賞受賞 2014年 日本・キューバ交流400周年記念行事として、初のキューバ公演を実施。 2019年 桐生麻耶が咲くやこの花賞を受賞 2022年 劇団創立100周年記念公演を大阪松竹座・東京新橋演舞場・京都南座にて上演 2023年 連続テレビ小説「ブギウギ」に当団出身の「笠置シズ子」をモデルに放送開始、現役劇団員 翼和希が出演 2024年 翼和希が新トップスターに就任。翼和希が咲くやこの花賞を受賞 2025年 4月、就任記念公演の掉尾を飾る「レビュー in Kyoto」を京都南座上で上演。 6月、翼和希トップスターお披露目公演として「レビュー春のおどり」を大阪松竹座上で上演。 8月、同じく「レビュー夏のおどり」を新橋演舞場で上演。	
	学校等における公演実績	2012年に中学校保健体育の一環として「ダンス」が必修化されたことを機に、小学校での「表現運動」と合わせ、この年から当団自ら学校への訪問授業を開始した。当団所属のプロの劇団員が踊る楽しさを子どもたちへ直接伝えることで、より一層の体と心の醸成を育むことに寄与すべく、これまでに関西圏を中心に当団を象徴する「ラインダンス」をアレンジした当団独自の体験プログラムによる訪問授業を小、中、高の各校で実施してきた。これまでの13年間で年々各地からの要望も増え、劇団員出身地である宮城県仙台市、栃木県真岡市、福井県越前市、神奈川県横浜市など全国各地に波及し、個別訪問した。これまでに全国の公立中学校および私立の中学校・高等学校319校へ訪問し、劇団員による『訪問ダンス授業(ラインダンス)』を提供させていただき、のべ69,204名の子どもたちにご受講いただきました。そして、今年度も20校の2,900名が受講を予定している。 本事業としては、2025年度に初めて北陸3県で小学校4校での開催が実現。各地の学校からの強い要望に応えて実現したこの機会に、普段接する機会のなかった子どもたちに本物の舞台の魅力や表現することの楽しさをお届けできて、各地から大きな反響を頂戴した。これまでの実績と高い評価を元に、今後も本事業を通じて一人でも多くの子どもたちに紹介し、実体験してもらうことで、子どもたちの豊かな心を育み、人や物事と前向きに接することできる意欲の涵養に貢献したいと考えている。	
	特別支援学校等における公演実績	公演等の実施実績は無いが、これまでの学校訪問授業の経験を活かして、本事業を通じて等しく参加・体験しやすいプログラムを実施する所存である。	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/OPkWtDhkqdA	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	なし
----	----

【公演団体名 株式会社OSK日本歌劇団 】

本公演・ワークショップの内容

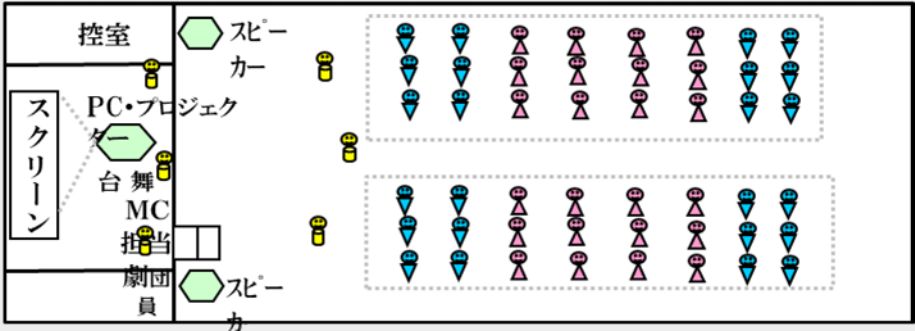
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	OSK日本歌劇団特別レビューショー＆表現力を身につける体験教室			
企画のねらい	子ども期における様々な「実体験」は、例えその後に長期間経過したとしてもその後の成長に良好な影響をもたらしていることが文部科学省の調査でも報告されている。その中でも「芸術体験」は、日常生活では接遇機会があまりないためか、実体験した時のその場の反応や効果は非常に大きく、またその反響も長期間継続し、記憶としても好印象をもたらしていることを当団もこれまでの活動で実感している。数多ある実演芸術の中でも「少女歌劇」は、特に上演・鑑賞の機会が少ない公演であり、なかなか本物の舞台体験をしている子どもも少ない。そのため、本事業を通じてわが国発祥の貴重な文化・芸術に触れ、歌唱やダンスによる感動体験によって、表現芸術が子どもたちの気持ちや心に寄り添いながら、豊かで前向きな意欲を一層高めることに貢献する。			
演目概要・演目選択理由	日本固有の文化として誕生し、独自の発展を遂げた「少女歌劇」の魅力をダイレクトに届けられるよう、歌唱とダンスで構成される「レビュー」を中心とした演目とする。磨き抜かれた歌唱力と軽快な音楽に合わせた華麗なダンスによる舞台は、子どもたちに当分野の醍醐味を最もお届けできると確信している。子どもたちの年齢を考慮した馴染みや共感を得られる選曲、女性だけで男女の役を演じ分けていることをわかりやすく伝える演出、飽きさせないスピーディーな展開と衣裳の早替え等で、集中力が途切れることなく鑑賞できる構成とした。また、制約のある学校上演でも遜色なくミュージカルの魅力が伝わるように、少人数でも上演できる当団の特徴を活かした演目構成によって、初めての鑑賞体験でも興味や関心が高まり、心や感受性を醸成できるプログラムとしている。			
児童・生徒の参加または体験の形態	事前に行うワークショップは、レビューの中でも代表的な踊りである「ラインダンス」のエッセンスを加えて構成した当団オリジナルのダンス体験レッスンを行う。曲のリズムに乗せて体と呼吸を合わせながら表情豊かに踊るダンスを劇団員が直接指導しながら、全員で体験するほか、当団が昭和5年から歌いつなぐ当団の代表歌「桜咲く国」を全員で歌唱と手振りの表現練習をする。また、公演時には選抜した児童・生徒に舞台上で劇団員とともに舞台道具の桜色パラソルを使った演技指導を行ったうえで「桜咲く国」を共演する。児童・生徒たち全員と歌唱と手振りを加えた表現による共演を行って、自分たちで表現することの楽しさ、皆と一緒に歌を上手に歌えることの達成感や喜び等を丁寧に育んでいく。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	10	
		鑑賞人数目安	300	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	当団が誇る「レビュー」は、聞き馴染みがあるクラシックや歌謡曲、子どもたちにも親しみのあるポップな曲などに合わせて、バレエやヒップホップ、ジャズダンス、ラテンなどの多種多様なダンスと歌唱とを融合させた独自の舞台を披露します。3部構成のレビューであり、ストーリー性のあるダンスや表現豊かに心を込めて歌う曲など、バラエティに富んだ構成で子どもたちが飽きることなく楽しみながら、そして自分たちも一緒に参加することで一体感と感動の共有ができる舞台構成としています。少女歌劇の魅力を残すところなく感じていただける唯一無二の舞台です。			
	作・演出 中野栄里子、斉田美和 音楽監督 浅野五朗 歌唱指導 大咲せり花			
出演者	公演時間	70	分	
	OSK日本歌劇団の劇団員 主演 椿りょう、華蓮いろは、蘭ちさと、ひより芽依、桃白透衣 ※学校の希望日程により、OSK日本歌劇団のメンバー内で変更となる場合が、想定されます。本公演の内容は、当劇団の定番公演であるため、主演者が変更となっても問題無く実施可能です。			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	OSK日本歌劇団の劇団員(※劇団内で出演者が変更となる事が想定されます) 主演 椿りょう: 男役スター 2014年4月 OSK日本歌劇団研修所入所 2016年5月 松竹座春のおどりで初舞台、その後、多くの舞台に出演 2019年BP劇場Precious Stonesで初主演、2025年2月にドラキュラにて中型劇場公演でも主演を務めた。 華蓮いろは: 娘役スター 2019年4月 OSK日本歌劇団研修所入所 2021年5月 松竹座春のおどりで初舞台、その後、多くの舞台に出演			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	5	名	運搬 積載量: 3 t 車 長: 4.84 m 台 数: 1 台
	スタッフ:	10	名	
合 計:	15	名		

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間		時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	6:30	6:30～13:00		WS:10:30～12:15 公演:13:30～15:15	10分 無し	15:30～17:00	17時00分	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数 目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。</small>	6月		7月		8月		9月	
	10月		11月		12月		1月	
	20日		20日		20日		20日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		80日	
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※会場条件について最低限必要な条件がある場</small>								
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 株式会社OSK日本歌劇団 】

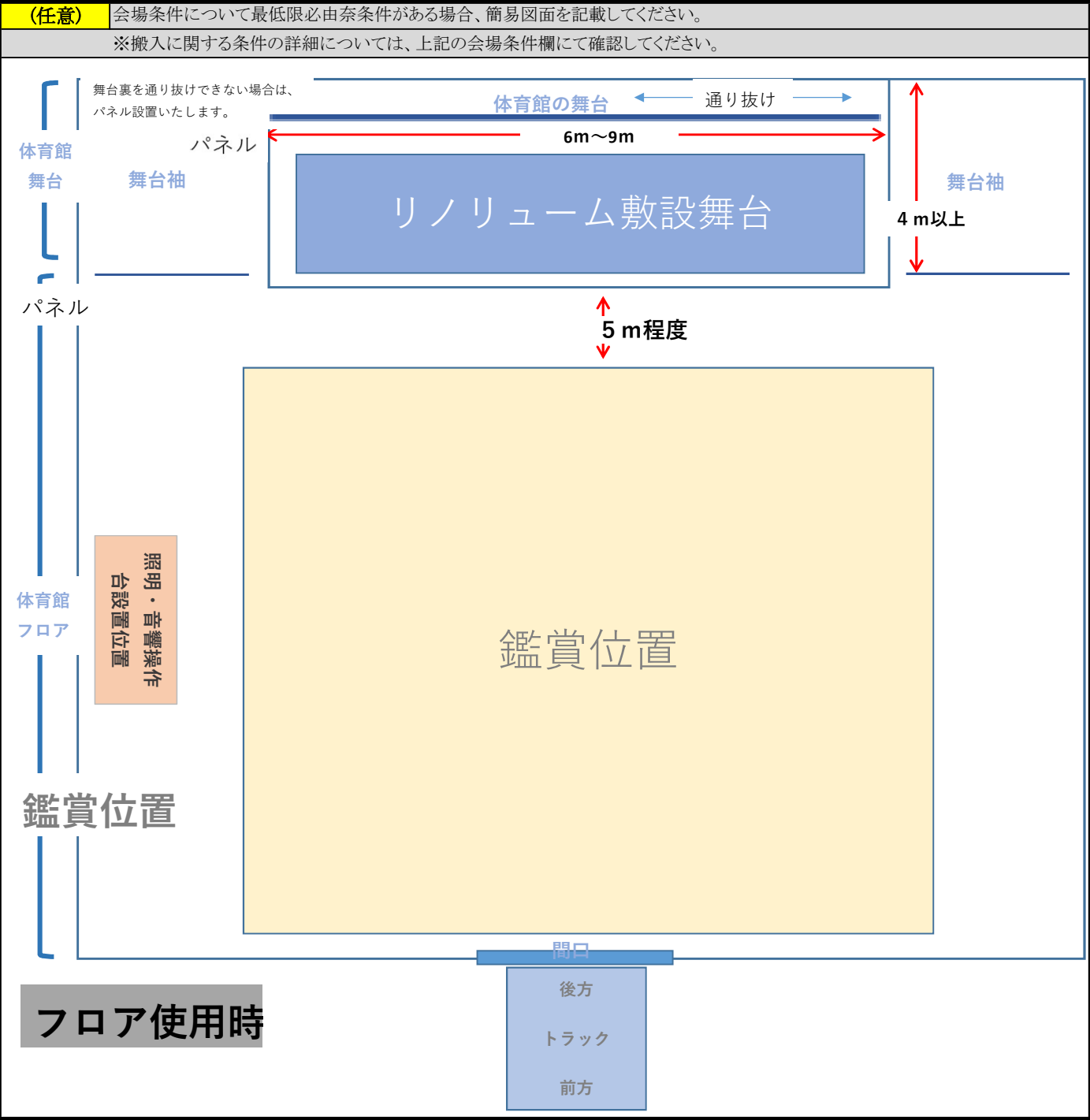
ワークショップの内容	ワークショップのねらい	女性劇団員が男女の役を演じ分け表現する「少女歌劇」の個性や特徴を丁寧に劇団員が紹介することで当分野の認知浸透を図るとともに、「ラインダンス」をアレンジしたダンス体験では、いかに身体と呼吸を皆と合わせながら、表情豊かに表現していくかに挑戦します。また、歌唱&手振り体験では、劇団員の丁寧な歌唱と合唱の指導により、心を込めて歌うことの魅力や、歌に合わせて手振りの表現を学んで、より一層感情を込めて相手に届けることの意義を子どもたちにも実感してもらうことがねらい。皆と心通わせ、タイミングを合わせ、全員が一緒になって共通の目標(本番)に向かって表現を完成させることの楽しみやワクワクを共有してもらうことで、明日への前向きなモチベーションや、友達や仲間と一緒に何かを成し遂げる達成感を育んでいくきっかけとしたいと考えています。		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	300
	ワークショップ実施形態及び内容	標準:45分～50分×2時限 <OSK日本歌劇団 表現力を身につける体験教室> ●ダンスによる表現体験 OSKの代表的なダンスナンバーであるラインダンスのエッセンスを加えたオリジナルダンス(約40秒)の振付を生徒全員で踊れるように指導します。 ダンスのメニューは、小学校低学年、中学年、高学年、中学校生徒向けの4種類を準備しています。 ●歌唱による表現体験 OSKの代表歌である「桜咲く国」を、劇団員指導の下で合唱練習します。併せて、ミニパラソルを用いた曲に合わせて簡単な手振りの振り写しと練習を行います。 指導プログラムは、以下の通りです。 ○入場・挨拶(自己紹介と「少女歌劇」とOSKの紹介) ○授業実施 ・ストレッチとエクササイズ ・課題ダンス(ラインダンス含む) ・受講認定証紹介 ○「桜咲く国」の歌唱、振付 ・選抜生徒への演出レッスン、指導 ・生徒全員での歌唱、合唱練習 ○記念撮影(学校様のご判断にて省略させていただきます) ○退場 途中に複数回の給水時間を設けます。		
	その他ワークショップに関する特記事項等	■体験教室体育館レイアウトイメージ ・ダンス、歌唱指導映像をプロジェクターにてスクリーンに投影、劇団員5名体制 		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
ワークショップ						
本公演						
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	同日にWSを実施するため、10:15～12:15の間は、体育館での音響・照明の準備作業を止めざるをえません。そのため、6:30～の搬入にご対応いただきたい。WSでプロジェクターで映像を投影するためスクリーンを借用したい。	
	2	夏場に実施の場合、スポットクーラー等の機器を準備いただき、高温・多湿度の環境を改善いただきたい。スポットクーラーや扇風機を設置してもブレーカーが飛ばないように電源対応をいただきたい。	
3	劇団員・スタッフの控室をそれぞれ1部屋づつ、合計2部屋をご用意いただきたい。また、劇団員控え室でドライヤーとスチームアイロンを使用したいため、ブレーカーの容量を確認させていただきたい。		

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名 株式会社OSK日本歌劇団 】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

当団は日本が生んだ「少女歌劇」という固有の分野において、100有余年の歴史と伝統を誇り、当分野における中核的存在としてこの文化をけん引してきた。また大阪発祥の当団は、「地域文化の担い手」を支える実演団体として地域から絶大な信頼と評価を得てきた。実演芸術団体の所在地や活動拠点が東京に一極集中する中、関西発の文化発信の要として、また女性だけで構成・表現される特異且つ希少な創造団体として、自らの特異性を活かした地域コミュニティとの交流や、普及啓蒙活動を継続して今に至る。芸術団体が社会包摂としての意義や役割を求められる中で、これまでも当団として独自に教育現場への訪問活動を行ってきたが、創設100周年を機に新たに、教育現場において文化・創造・スポーツなど、複合的に子どもたちの体と心の醸成に寄与すべく、本事業に積極的に参画したいと考えている。

本事業を通じて、感受性豊かな子どもたちに「少女歌劇」の世界観や文化を正しく伝えること、当団が継承してきた本物の舞台が創る美しい表現芸術に触れること、洗練されたダンスや歌唱の魅力を子どもたちが一丸となって体験すること、子どもたち自らが表現する楽しさや創造することのやりがいを感じ、達成感を自信につなげることをこの機に実現させたい。それらによって子どもたちが豊かな心を育みながら、心身の健康増進や発育に貢献したい。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

当団は2012年度から関西を中心に独自に小・中・高校に訪問授業を行ってきた。当団劇団員が学校を訪問し、校内で当団を代表する「ラインダンス」をアレンジしたオリジナルのダンス体験レッスンを指導。子どもたちの体感を鍛え、音楽に合わせて表情豊かに音感をもって踊る体験を育成してきた。学校や生徒からの反響は大きく、以降劇団員の出身地を中心に全国各地へと波及し、実績を重ねた。これまでの13年間で合計319校へ訪問し、のべ69,204名の生徒たちに体験いただいており、今年度も20校で、2,900名の生徒が体験予定である。この実績と経験を活かして、子どもたちが表現することの楽しみを実感しながら体験できるダンス指導を行うほか、当団代表歌の「桜咲く国」の合唱練習を行いながら、手振りによる曲に合わせた表現を学ぶ機会を実践する。ダンスと歌唱が「少女歌劇」の真骨頂であり、それらを劇団員とともに体験することで、普段なかなか触れる機会の少ない子どもたちに本物の芸術がつくる表現の魅力や力強さ、そして感動を共有することの大切さを直接感じていただくことで、自らが体験し、感じたことをこれからの生活に前向きな方向へと向くように、あたたかく指導すべく、十分に準備と配慮をしている。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

事前に学校へ訪問し、各種調整事項・確認事項を打合せしスムーズな実施に努めます。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

少人数による上演体制が可能であり、それら上演作品も多数有しているため、最小3名からの上演ができる。舞台のサイズや上演機材も学校にあるものや、少量の持ち込み機材等で対応できるため、上演環境に左右されず実施が可能である。また、舞台上演を構成する劇団員は皆、同等のワークショップ指導経験と実績を有しているため、人数や規模に関わらず体験できるワークショップのレベルが担保できる。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

事前ワークショップでレッスンしたダンス経験やノウハウは、それらを題材に、以降の体育祭などの発表の場で十分活用いただける内容である。当団の団歌である「桜咲く国」でパラソルを用いたパフォーマンスも体育祭や文化祭などの発表の場で活用いただける内容となっている。

別添

なし

【公演団体名 株式会社OSK日本歌劇団】

特別エリア区分で事業を実施するに当たっての工夫

①離島・へき地等における公演実績

2025年度に北陸地区の能登島小学校(離島)での実施実績あり。
その他、北陸3県(石川、富山、福井)にて他小学校3校の実績があります。

②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、当該地域、また特別エリア区分の企画に求められる要件を踏まえた上で、一般区分と同様の公演及びワークショップの質を保つための工夫

【特殊な事情がある地域での実施に当たっての工夫】

上演する上で必要となる機材や衣裳等、必要最低限で上演の質を保てるように演出を工夫しているほか、宅配便等の活用による持ち込み機材等の運搬車両の最小化を図ることができる。

【質を保つための工夫】

少人数上演スタイルでの公演は常設劇場で常に行っているため実績は豊富に有しており、学校上演の子ども向け演出や内容構成は完成度の高い作品を提供できる。また、劇団員は全員付属の研修所で2年間の様々な歌劇における教育を経て入団しているため、歌唱やダンスの指導においても経験値は高く、多くの舞台上演を重ねて磨いた表現力とその伝道にも定評がある。さらに、上演学校の環境に合わせて、照明やプロジェクター使用の有無も調整可能である。

③特別エリア区分応募における、費用面の工夫

持ち込み機材、出演人数を最小単位で調整ができるため、一行人数や運行車両も最小化が可能である。また、ワークショップと本公演と機材を共通化させ、スムーズで効率的な運用でコストの低減を図っている。さらに学校の環境に臨機応変に適用できる上演プランにしているため、条件が違う各校において、同等の上演の質を保ちながら舞台上演ができる。